

「航空における利用者負担のあり方」

航空政策研究会
特別研究プロジェクト中間報告

メンバー

委員長： 山内弘隆

リーダー： 加藤一誠

一橋大学経営管理研究科 特任教授・航政研会長
慶應義塾大学商学部 教授・航政研理事/事務局長

(以下メンバー五十音順)

引頭雄一

関西外国大学外国語学部 教授・航政研事務局長補佐

遠藤伸明

東京海洋大学流通情報工学部門 教授・航政研理事

小熊 仁

高崎経済大学地域政策学部 准教授

小島克巳

文教大学国際学部 教授・航政研理事

後藤孝夫

中央大学経済学部 教授

西藤真一

島根県立大学総合政策学部 准教授

手塚広一郎

日本大学経済学部 教授・航政研事務局長補佐

中東雅樹

新潟大学経済学部 准教授

中村知誠

慶應義塾大学大学院商学研究科 後期博士課程

橋本 悟

帝京大学経済学部 准教授

眞中今日子

東京交通短期大学 専任講師

なぜ、いま、利用者の負担をとりあげるのか？

- 1) 航空・空港政策が特会に変化をもたらしたか？
- 2) 今後のインフラ負担のあり方はどうあるべきか？

利用者とは誰か？

- 使用料の増加はエアラインによる運賃への転嫁を通じて旅客の負担を増やすのか？
- インバウンド旅客が増加しており、空港の設計と同様に、負担も考え直す必要はないだろうか？

今後も空港（インフラ）にコストは必要か？

- 「運営の時代」にどれほどの支出が必要か？
- 空港民営化の影響は？
- 空港経営の行方は？

実行中の航空・空港政策の枠組み

